

会議名	平成 26 年度第 2 回愛荘町国民健康保険運営協議会 会議結果（概要）
開催日時	平成 27 年 2 月 24 日（火） 午後 7 時 25 分～午後 8 時 43 分
開催場所	愛知川庁舎 3 階 第 2 委員会室
出席者	被保険者代表 石沼林三郎委員、中村きよ子委員 保険医・薬剤師代表 中村公久委員、森野尚子委員、上林俊明委員 公益代表 馬場康廣委員、楠神征子委員、宇野久七郎委員
欠席者	被保険者代表 村川喜與一委員
事務局	住民福祉部長 川村節子、収納管理主監 小杉善範 住民課課長 徳田郁子、係長 田中智子、主査 小泉周子 主任 伊藤圭佑、主事 隅山 誠 税務課参事 北村章夫、係長 澤 孝明 健康推進課課長 酒井紀子
傍聴者	0 人
議 題	平成 27 年度愛荘町国民健康保険事業特別会計歳入・歳出予算（案） について
審議内容	別紙のとおり
問い合わせ先	住民課 担当 小泉 連絡先 0749-42-7692

【別紙】

(開会)

1) 会長あいさつ

平成26年度第2回国民健康保険運営協議会を開催しましたところ、委員の皆さまには公私何かとお忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、平成27年度愛荘町国民健康保険事業歳入・歳出予算案、についてご審議いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

2) 町長あいさつ

第2回愛荘町国民健康保険運営協議会をお願いしましたところ、委員のみなさまには夜分おつかれのところ、またお忙しい中、ご出席賜りまして厚くお礼申し上げます。

日ごろは町行政各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当町の国民健康保険であります、年々増える医療費や国保税滞納の増加等による厳しい財政事情の中、一般会計からの支援を受け、保険財政の運営を行っております。

本日は、平成27年度愛荘町国民健康保険事業特別会計歳入・歳出予算案について、ご審議いただきたく存じます。何卒よろしくお願いいたします。開会のあいさつとさせていただきます。

3) 平成27年度愛荘町国民健康保険事業特別会計歳入・歳出予算(案)について

○事務局説明の後、質疑・応答

・(委員) 特定健診についてですが、近隣町では死亡率が高かったため、町をあげて取り組んでいるとも聞いています。愛荘町はどうですか。

(事務局) 近隣町で20年前から透析患者さんが大変多くて医療費を圧迫していました。透析になる原因を調べると、腎臓系と糖尿系に分かれます。愛荘町は血糖値が高いので糖尿系を探っているところです。

・(委員) 特定健診の受診率を上げていくことが医療費の抑制につながるのではないのでしょうか。

・(事務局) インパクトのある受診勧奨をすることが受診につながっていくのかと思います。平成 27 年度は人間ドックの予算も 70 人くらい増やしました。

・(委員) 滞納繰越が 1,670 万円計上されていますが、まだまだあるのですか。

・(事務局) 1,670 万円見込んでいて、それ以上あります。

・(委員) データヘルス計画は今までのデータを基に行うのですか。

・(事務局) データベースは平成 24、25 年度を使用します。

・(委員) データヘルス計画は計画途中に報告していただけますか。

・(事務局) 来年度は税率改正の年でもありますし、何度かお願いする運協の中で報告させていただきます。

・(委員) 特定健診の受診率をあげるには以前のように集落を回ってはどうか。

・(事務局) 国民健康保険の方だけの健診になりますので、難しいかと思います。

・(委員) 国民健康保険ではなく、組回国保に入っていますが、町で健診を受けています。補助等はどうか。

・(事務局) 保健センターは健診機関となっていますので、社会保険の家族も受けられることがあります。保険者さんが全額持てば無料ですし、千円の負担が必要な場合もありますし、保険者によって補助は違います。

4) 閉会